

# 『今年の見学旅行の裏話』

二年次主任 若林理一郎

十月末から広島、京都、奈良を主な研修場所として見学旅行に参りました。

見学旅行の本格的な準備は夏休み明けでは有りますが、実際には、この年次の高校入試合格発表の一週間後くらいに各旅行業者の説明を受け、資料を比較しながら業者選定を行うので、一年半ほど前から始まっているのです。

そして、この年次は宿泊研修と同じ業者だったので、日高での研修中に合間を見て概要について情報交換をし、このときから準備が始まっていました。

今回の計画で一番腐心したのは、「対費用効果」です。ただ、これはあまり良い表現ではなく、正確には、費用を精選し、思い出に残る見学旅行のために必要なこととそうではないことの取捨選択を行いました。

特に気を遣ったのは、

○ゆとりある日程

○極力、自由食にしない

○バランスのとれた研修

○興味関心を持てる内容等々で、とにかく大人数で移動するため、制約の多い中での計画でした。

主な研修内容は、

○広島平和記念講演での

平和学習

○日本三景の一つである

宮島・厳島神社見学

○京都での「関西に関する講演会」？

○奈良の東大寺・大仏の見学

残念ながら、移動距離と交通機関の乗り継ぎの関係で、京都での全体研修の機会がとれず、生徒の自主研修に任せるしかありませんでした。

見学旅行から帰ってきてあるクラスでアンケートをしたところ、これらの内容に対して全て八割以上の生徒が肯定的に評価したとい

う話を聞いて、計画段階では非常に心配と不安しかなかった気持ちがつすかり安心と喜びに変わりました。

「原爆の悲惨さと平和の尊さ」「歴史的建造物と古い日本

の町並み」など、今の高校生は興味関心を持てるものとして受け入れられるのがずっと気になっていたのですが、見学時間が短く感じられる所もあるほどの状況だったのには、驚きと安心を感じました。

そして今回、秘密裏に計画したのが「関西講演会」でした。京都での全体研修の時間がどうしても短いため、当初計画（二条城）をやめたのですが、正直なところ困っていました。これは、ちょうど一年生の冬の話です。その後、様々な状況を踏まえて決まったのが、演芸の出張公演でした。

宿泊先である京都の佐野家の食堂を会場にしたのですが、改修したばかりの施設で、大分無理を言ってお願いました。また、松竹芸能から、絶対的7%（漫才）、森乃石松（落語）、ボ

ルトボルズ（漫才）の三組に来ていただいたのですが、担任団だけは事前に知っていたのですが、正直なところ存じ上げない方ばかりでどうなるのか先が全く読めませんでした。

当日、生徒がすき焼きを食べている時に楽屋へご挨拶に伺い、その後、一緒に会場の設営・準備にあたったのですが、高校生相手になどの程度頑張ってくれるのか不安だったところ「お金を頂戴しているから」と座席の向き、マイクの調整、発声や舞台での動きの練習など事細かにセッティングしている姿は、高いプロ意



識を感じました。そして、本番。前列の女子生徒は、笑い泣きしながら大喜びしていた姿を今でも思い出します。そして、最後には全員で記念撮影。思い出に残る一晩でした。

帰宅してスマホで見ると、出演者の一人が

「今日は初めて修学旅行の営業行かせて頂きました！」

小樽桜陽高校のみんなありがと！

どの舞台入れても過去最高に暖かくてエネルギーもらいました！

来年のZでみんなが自慢出来る漫才師になります！！！！！

とツイートしてくれ、これが今回の見学旅行を象徴しているのではないかと思います。我々引率団も思い出深いものとなったこの見学旅行は、生徒の協力はもちろん、添乗の日本旅行をはじめとする関係業者の皆さん、本校の関係教職員、そして、保護者の皆様の多大なるご協力とご支援があればこそと、深くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

